

No.11-2005

平成17年11月30日発行

11月例会・TOYP2005あきた人間力大賞 を終えて



11月15日、シャインプラザ平安閣にて11月例会を開催しました。当日は外部から来賓の方々もお招きしての例会ということもあり抜かりなく進行しなければならなかったところを、私の司会進行を始め、いまいちスムーズには行きませんでした。受賞者である「小林義隆」様率いるなまはげ郷神楽の迫力ある太鼓演奏に救われました。

参加戴いた方はお分かりでしょうが、酒の席での演奏だったにもかかわらずみんなの目線はなまはげ郷神楽の演奏にくぎ付けでした。受賞者オブザーバーも当初予定していた人数より増えたので、いっそう迫力が増しました。

来賓の方、メンバーからも多数よかったという声を聞き本当にほっとしました。

次年度以降もあきた人間力大賞は行われます。まずはJCメンバーにこの事業の素晴らしさを知ってもらわなくては市民への認知度も上がりません。今年以上に素晴らしい人間力大賞になることを期待しております。

最後に一年を通じてあちこち駆けずり回って戴いた委員会メンバー、アドバイス下さった阿部常任、渡部副理事長、これほど皆に支えられて嬉しかったことはありません。本当にありがとうございました。

人間力大賞運営委員会
委員長 鈴木 充



会員研修委員会オープン委員会



去る11月4日、JCスクール3校時併設という形で会員研修委員会オープン委員会が開催されました。

『新しい思考で現状を打破しよう!』をテーマに挫折や

不運という概念を持ちいない常勝の発想法として白澤先輩をお招きしブレイクスルーを学びました。

これまでの考えかた『デカルト思考』からこれからの考えかた『マルチ思考』に考えかたを変えユニークな発想で現状を打破していくことにより、これからの健全で前向きなJC活動に必ずプラスになるのではないのでしょうか。

最後に多くのメンバーにご参加いただき有難うございました。

会員研修委員会
委員長
塩田 和彦



第54回全国会員大会姫路大会



9月29日から10月2日までの4日間の日程で、兵庫県姫路市にて第54回全国会員大会が開催されました。大会のテーマは「創造、日本の夢 Jaycee 43,000の意気と力で社会を変革する」というものでした。

私は9月30日に谷口理事長・長谷川専務と共に姫路に入り、世界遺産に登録されている姫路城を見学し、歴史の香りを満喫いたしました。その後理事長アテンドのため総会会場に向かいました。総会では谷口理事長の男らしさを再確認させられる出来事もあり、大いに秋田JCがクローズアップされたと聞いております。10月1日からLOMメンバーが続々と姫路入りし、夕方からは大懇親会が姫路城三の丸広場で行なわれLOMメンバーと共に参加しました。楽しく歓談し、さらに全国のメンバーとの交流も図れました。大懇親会のエンタメは西城秀樹さんで大いに盛り上がり、数千人が声を合わせての「君が望むなら!」「ヒデキー!」や「Y

MCA」は大迫力でありました。ヒデキと一緒に登壇で深沢監事のハシャギぶりにも目を見張るものがありました。

翌日の式典は、高竹会頭の一年の総括と池田次年度会頭の意気込みのスピーチと郡山大会の発表が行なわれました。卒業式ではエンタメとして同じ40年生まれの中森明菜さんが登場し、そして卒業生登壇では当LOMの卒業生が立派に登壇されました。お世話になった40年組への想いで胸にグッとくるものがありました。

今回の全国大会で印象的なのは、やはり全国大会運営会議に出向しているメンバーの頑張りでした。斎藤議長・渡部総括をはじめ、全ての全運メンバーが姫路JCのメンバーと共に汗を流している姿を見て、やり遂げ得られる感動というものを教えていただきました。本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

副理事長 渡部羊三



2005・2006年度東北地区協議会諸会議を終えて

11月11・12日福島県会津若松市東山温泉にて「2005・2006年度(社)日本青年会議所東北地区協議会諸会議」が2日間に亘り開催されました。

11日の新旧合同懇談会では2005年度役員皆様の達成感のもと、申送りを踏まえ熱い思いを次年度に伝えな

がら共に称えあう貴重な時間を共有できました。翌日は、本次年度の会員会議所会議を行いその後、私達の夢の実現「第55回全国会員大会郡山大会」に向けて東北地区内78LOMによる副主管仮締結式が行われました。「とうほくJC」の名のもと、東北が一つになる歴史的瞬間を見た時、二日酔いでしたが奮えと感動を覚えました。

また、2006年度日本JC池田会頭率いる役員団をお迎えしての事業説明会が行われ、我々が斎藤秀光2006年度日本JC情報支援グループ担当常任理事の勇姿を里親の思いで見守らせていただきました。最後に東北地区役員経験者卒業式が行われ、秋田JCでは、深沢功君と曾我祐一君がその対象者でした。

曾我祐一君におかれましては、当日参加できませんでしたが、多数の皆様から御礼のお言葉をお預かりいたしました事、この場お借りしご報告申し上げます。卒業生が登壇されセレモニーも終盤を向えた時、舞台



袖に隠れ目頭を押さえていた深沢功君の姿にLOMの垣根を越え、その場にいる参加者全員の何かをふるわせました。JCを心底愛し情熱を降注ぎ、全国のJAYCEEマンから愛された男の旅立ちは、「東北のひかり」そのものでした。タイトな日程でしたが得るものが多く、1年通じての「進化と継承」の集大成を感じさせていただきました。

最後になりますが、一緒に出向した皆様へ感謝と、多大なるご支援をLOMの皆様から賜りましたこと厚く御礼申し上げます。合掌
(社)日本青年会議所東北地区協議会 監事 岩本之正



「新たな情報発信 秋田青年会議所特別テレビ番組」 ～夢あるあきたのまちづくり～を総べて



11月19日(土)14時から1時間に渡り、秋田青年会議所がこの一年携わってきた事業について収録したテレビ番組「夢あるあきたのまちづくり」をABS秋田放送にて放映致しました。

およそ会社でもJCの1委員会であっても、それを引き継ぐ者というのは、前任者のやってきた物事を踏襲するタイプ、バツサリ切捨て、新しい何かを産み出そうとするタイプ、前任者が行ってきた事業に何か新しいものを付加するタイプのいずれかであると思います。

私は情報戦略推進委員会の委員長を拝命してから「付加する事」を前提に事業を考え進めてきました(途中でバカバカと頭を叩いたのは言うまでもありません)。なぜうどん屋の私が「DV」だ、「完パケ」だ、「ワイプ」だ、と別業界の用語に頭を悩ませられながら「シナリオの書き方」という本をネットで注文しているのか、一家団楽テレビを観ながら「CMを入れるこんなタイミングもあるんだ～」などと独り言を言っているのか、頭をかきむしる事もしばしばでした。

年間の秋田JCの事業の中で対外的に発信可能な事業を選択し、専務理事や事務局長に準じるのではと思うほどに秋田JCの年間の事業を先取りする格好で取材を進めました。多くの方々のご協力や情報を頂戴しながら、デジカメやハンディカメラを片手に参加する当方の委員会メンバーを見かけた事と思います。

テレビ番組にするという事は行なわれた物事を時系列に流すのではなく、その事業に隠された各委員長の想いや、継続事業であればその背景、多くの要素を凝縮し、的確にダレずに伝える必要があります。またCM協賛各社には本番組への協賛メリットを享受して戴く必要がある為、チャンネルを変えられる事の無い面白さ、テンポの良さが必要となってきます。

結果としてABS秋田放送さんをはじめ、協賛企業様、編集業者の方々、秋田青年会議所の各メンバーのご協力により大成功かどうかは視聴率という価値基準に照らし合わせなければ解りませんが、何とか放映にたどり着く事が出来ました。

そもそも本番組を通して、秋田JCとはいかなる団体で、どんな想いを持って事業を行なっているのかを市民を巻き込みながら世に問いたいという想いで進めてきました。放映日を経て、秋田青年会議所や「JC全般」



の運動・活動について少しでも理解を得る事が出来たとすれば、この一年は私をはじめ委員会メンバーの宝物になる事と思います。

最後になりますが、今回このような経験をさせて戴く機会を与えてくださった谷口理事長をはじめ、温かく見守ってくれた平川副理事長、私の「もう一回やり直し」の指示にピクピクしながらもナレーションを務めてくれた石田常任理事や奈良依里子OB、最後に「キレル」、「急な指示を出す」、「うなだれる」こんな委員長をサポートしてくれた委員会メンバーに感謝申し上げます。情報戦略推進委員会 委員長 米澤弘晃

出向を通しての感想

今回の出向を通して感じた事は「新しい自分が見つかる場」であったという事です。

今までの自分は基本的に人間関係には消極的な人間であったと思っていましたが、今回のアカデミーを通していくうちに段々と自分が他のロムの人と交流をしたいと欲していくことに驚きました。

確かに最初のうちはなかなか溶け込むことができなかつたのですが、理事長や委員長、委員の方のアドバイスを頂いていく内に交流の楽しさに気付くことが出来ました。

そして、うまく自分の考え方や人間性を表していくことが出来るようになっていきました。もし、今回のようなアカデミーへの出向が無かつたら今までのように他の人に対して消極的でコミュニケーションを上手にとる事が出来なかつたことでしょう。

しかし、このような貴重な経験をさせて頂いたこと



により以前の自分よりも成長できたのではないかと感じています。

もう一つ、今回の出向で得られた事は多くの良いお話を聞いたことです。日本JICの会頭のお話を聞かせて頂いたり、素晴らしい講師の方々のお話を聞いていくにつれて今まで自分の中での物事に対する考え方をより多くの観点から見る事が出来るようになりました。この事によって、今まではネガティブにしか捉える事が出来なかつた物事を逆に転機やチャンスであるといったようにポジティブに考えられるようになりました。

最近では能天気になったと言われる位になりました(いい意味です笑)。

このように、この一年間で自分は多くの経験させて頂きいい意味で変わることができたような気がします。これからも今まで以上に多くの人と交流し、自分を高めて行きたいと思います。

総務交流委員会 運営幹事 三浦圭介



12月例会並びに卒業式のお知らせ

来る12月13日秋田キャッスルホテルにおいて、12月例会並びに卒業式が開催されます。例会では褒賞の発表と表彰、次年度への引継ぎのセレモニーが行われます。

卒業式においては、ご卒業を迎える昭和40年生れ17名のメンバーの門出をお祝いし、メンバー全員の心に残るような卒業式を企画しております。

万障お繰り合わせの上ご出席下さいませようお願い申し上げます。 会員拡大推進会議 議長 及川 正

記

日時 12月13日(火) 17:00~
会場 秋田キャッスルホテル
1・17:00~ 2005年度臨時総会
2・17:30~ 12月例会
3・18:45~ 卒業式

編集後記

熟爛がおいしい季節になりました。今年も残りわずかですね。振り返るにはまだ早いですが、全国大会楽しかった~。卒業生用の登録証をにぎり、卒業式へ潜入。12年後を思い感慨深いものがありました。残され

た巳年。長い道のり。へこたれそうですけど来年も頑張ります。オー!

情報戦略推進委員会 運営幹事 高橋大輔